

掲載日：2010年2月9日

# 丹沢ボラネット瓦版 2010年1月号 No.74

## 丹沢自然再生プロジェクト推進制度 神奈川県『サントリー「天然水の森 丹沢」自然再生プロジェクト』と協定を締結

12月号掲載「丹沢自然再生プロジェクト推進制度」の第1号として、サントリー『天然水の森 丹沢』が選ばれました。このプロジェクトは、神奈川県が管理する県有林の一部（東丹沢・札掛周辺の約577ヘクタール）を活動区域とし、丹沢大山自然再生委員会および神奈川県と協働で、森林の水源涵養機能の保全・再生活動および生物多様性の向上を目指した活動を進めていくものです。間伐や枝打ちといった従来の森林整備活動に加え、植生保護柵の設置、森林における“水と土と生物”のつながりに着目したモニタリング等の調査を実施することで、100年後を見据えた自然再生を進めていきます。

### サントリーの水源涵養活動について

サントリーは、「人と自然と響きあう」という企業理念のもと、地球環境保全活動に積極的に取り組んできました。とりわけ商品づくりに欠かせない水については、「水と生きる SUNTORY」をコーポレートメッセージに掲げ、水および水を育む自然環境との共生を目指した企業活動を推進しています。

「天然水の森」は、地域と連携しながら、水源涵養林として高い機能を持つ森に育てるとともに、生物多様性を保全し、人々が自然と接することのできる森づくりを行う活動です。主に工場の水源涵養エリアで実施しており、工場で使用する水量以上の地下水を涵養することを目標としています。2003年開始の「天然水の森 阿蘇」（熊本県）をはじめ、昨年は「同 南アルプス」（山梨県）、「同 赤城」（群馬県）など、現在全国9府県10か所で水源涵養活動を推進、2011年までに水源涵養面積約7000ヘクタールを目指しています。

### 「サントリー『天然水の森 丹沢』自然再生プロジェクト」



所在地

神奈川県丹沢県有林17林班ほか

面積

約577ヘクタール

活動内容

神奈川県や大学等との森林における土や水、植生、鳥類、昆虫等に関する調査・研究、間伐などの森林整備活動、植生保護柵、土留め工の設置など。

### サントリー水源涵養活動について

名称	契約年	契約年数	契約形態	面積	活動概要
天然水の森 阿蘇 (熊本県)	2003年	60年間	林野庁「法人の森林」	約102ヘクタール	地元の熊本森林管理署と間伐の実施時期・方法などを協議し、水源涵養機能の高い針広混交林づくりを推進中。2009年度は約2ヘクタールの間伐を実施。
天然水の森 子持山	2004年	35年間	林野庁「法人の森林」	約5ヘクタール	「法人の森林」エリアに加え、隣接する国有林約7ヘクタールを群馬森林管理署と2007年3月に締結した「多様な活動推

(群馬県)					進の森」協定に基づいて森林整備を実施中。
天然水の森湯の峰(和歌山県)	2005年	10年間	和歌山県「企業の森」	約4ヘクタール	和歌山県田辺市本宮町に位置する、世界遺産「熊野古道」沿いの伐採跡地を豊かな広葉樹林に復元する活動を実施中。
天然水の森塩尻(長野県)	2005年	5年間	長野県「森林(もり)の里親」	約18ヘクタール	長野県塩尻市において地元自治体と協働して森林整備活動を実施中。
天王山(大阪府・京都府)	2005年	10年間	「天王山周辺森林整備推進協議会」に参画	約250ヘクタール	大阪府・京都府等と「天王山周辺森林整備推進協議会」を設立。行政・学識経験者・地域住民などと連携を図り、2005年10月から竹林整備などの森林整備を実施中。
西山(京都府)	2005年	10年間	「西山森林整備推進協議会」に参画	約800ヘクタール	京都府等と「西山森林整備推進協議会」を設立。行政・地元自治体などと連携を図り、2005年10月から間伐などの森林整備実施中。
天然水の森奥大山(鳥取県)	2007年	30年間	林野庁「法人の森林」鳥取県「とっとり共生の森」	約147ヘクタール	「サントリー天然水株式会社 奥大山ブナの森工場」の水源涵養エリアとその周辺の2箇所で森林整備活動を実施中。2009年度は約4ヘクタールの間伐、および間伐材の搬出等を実施。
天然水の森南アルプス(山梨県)	2008年	30年間	「やまなし森づくりコミッション」の協定	約180ヘクタール	植生調査および施業計画を立案中。また、間伐材を利用する炭焼き施設を地元集落に設置。
天然水の森赤城(群馬県)	2005年 2008年	30年間 5年間(100年間自動更新)	林野庁「法人の森林」 林野庁「多様な活動推進の森」協定	約1310ヘクタール	広大なエリアを植生調査した上でゾーニングし、それぞれのエリアに最適な森づくりを計画。2009年度は植樹、作業道の設置や間伐、獣害防止柵の設置等を実施。
天然水の森丹沢自然再生プロジェクト(神奈川県)	2009年	5年間(100年間自動更新)	「丹沢大山自然再生委員会」の「自然再生プロジェクト」として神奈川県と協定を締結	約577ヘクタール	神奈川県と協働し、土壌や水文に関する研究や、森林の保全・再生と活用手法の検討と実践、水と土と生き物のつながりに着目したモニタリングなどを実施。

このほか、阿蘇、白州、奥大山では、森や水などの自然をテーマとした小学生向けの次世代環境教育、サントリー水育「森と水の学校」を開催。

(サントリーホールディングス(株)プレスリリースから抜粋。文責：奥津昌哉)

## お知らせ

### 総合調査報告書ホームページから公開

丹沢大山総合調査学術報告書・資料が12月10日から[自然環境保全センターホームページ](#)で公開されました。本冊をお持ちでない方は一度ご覧下さい。

**目次：** グラビア / 1背景と調査計画 / 2生き物再生調査 / 3水と土再生調査 / 4地域再生調査 / 5情報整備調査 / 6特定課題の解析、資料

**別冊：** 丹沢大山動植物目録

### 神奈川県自然保護協会 公開勉強会 「丹沢・ブナ林再生への道のり - ブナハバチとブナ林 - 」

**日時：** 2月19日（金曜日）18時30分～20時30分

**会場：** 横浜市開港記念会館

入場無料

（申込み不要、直接会場に）

### 第7回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（横浜・川崎地域フォーラム） これからの水源環境への取組を考える 市民グループ・企業の立場から

「水源環境保全・再生かながわ県民会議」では、平成19年度からスタートした水源環境保全・再生施策について、県民の皆様  
の意見を幅広く収集し、施策へ反映させていくため、県民フォーラムを開催しています。第7回フォーラムでは、「これからの水  
源環境への取組を考える 市民グループ・企業の立場から」をテーマに参加者の皆様と一緒に多様な主体による水源環境の保  
全・再生への取組について考えていきます。

**日時：** 1月26日（火曜日）18時30分～20時30分（18時開場）

**会場：** 横浜市開港記念会館 講堂（みなとみらい線日本大通り駅徒歩1分）

**定員：** 先着283名（当日受付、会場に直接おこしください）

**内容：** 水源環境保全・再生事業の実績報告、パネルディスカッション「水源環境への取組を考える：活動を市民に広げるため  
に」ほか

#### 世話人会

次回世話人会は、3月4日（木曜日）18時30分～ 海老名市民サポートセンターで

議題：総会の関連議案（事業報告・計画、役員改選、他）について、その他

#### 2010年総会

総会は2010年4月4日（日曜日）13時～ 自然環境保全センターレクチャールームにて開催します。

#### 自然環境保全センターホームページ（下記）からボラネット瓦版を公開しています

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/05/1644/main.html>

#### ボラネット瓦版の電子版

ボラネット瓦版の電子版を希望される方は、どなたにでも配信いたしますので、下記事務局まで申込み下さい。

### お問合せ・連絡先（協働編集事務局）

神奈川県自然環境保全センター 自然保護課 大木伸一

〒243-0121 厚木市七沢657 電話：046 - 248-6682 ファックス：046-248-0737

問い合わせフォームURL：<http://www.pref.kanagawa.jp/sosiki/kannou/1644/index.html>

丹沢ボラネット瓦版1月号（通巻74号）

2010年1月20日発行

丹沢大山ボランティアネットワーク（世話人代表 奥津昌哉）

## 神奈川県

このページの所管所属は [自然環境保全センター](#) です。